

「いつまでマスク生活を続けるのか？厚労省のHPには外すことを推奨している。勇気を出して外してみよう！」

令和4年4月5日

●年金生活者 K さんからの質問

楽しく拝見しています。コロナの蔓延防止は解除になりホッとしています。街に限らず何処に行っても殆どの方はマスクをしたままです。マスクはいつになったらとれるのでしょうか？マスクをせずとも安心して暮らせる閾値を行政はシミュレートしているのでしょうか？

●西田昌司の答え

私も必要に応じてマスクを付けるべきと思いますし、「どこでもマスク」の今の空気にはほとほとうんざりしていますので、正しい情報を国民に発信して過剰な対策は止めさせるよう厚生労働省の役人に強く求めています。

そんな私に対して、厚生労働省の新型コロナウイルス感染症対策推進本部から

厚生労働省では、一般の方向けのQAをHPで公表し当該HPにおいて、外出時においても人との間隔が十分とれない場合にはマスクの着用をお願いしております。ただし、外出時の一律着用を求めているわけではなく例えば、高温や多湿といった環境下では、熱中症のリスクが高くなるおそれがあるので、十分な距離がある場合には、マスクを外すことを推奨しておりHPやツイッターでリーフレットを公表しています。

との回答があり、HPでは正しい情報を発信しているようです。しかし、国民にその声は全く届いていません。

厚生労働省に限らず、役人はただ言われたことを淡々とこなしている面がありますし、厚生労働省のコロナ対応を見ている、正しい情報を国民に伝えて社会を良くしようという姿勢は全く感じられません。

私は、党本部と国会の間の屋外を歩く時はマスクをしていますが、鼻でする息がマスクで邪魔をされないように鼻を微妙にマスクから出しています。周りに人がおらず、まして屋外ともなればマスクなどする必要がありませんし、マスクを真面目にすると息が詰まってかえって体に悪いのですが、国会議員の立場ではマスクを大っぴらに外すわけにもいきません（そんなことをすると、槍玉に挙げられるのはわかりきったことです）。

とは言うものの、毎朝靖國神社に行くときはマスクを思い切って外しています。帽子とサングラスをしていますので誰も私だと気付きませんし、走ってもいますので、マスクなどしていたら（特に暑い時期は）倒れてしまいます。

必要に応じたマスクの着用を国民の側からも積極的に実践していかなければなりません。これからだんだんと気温が上がってきますし、コロナに罹らなくとも熱中症で倒れてしまったら何のためのマスクなのか全くわからなくなってしまいます。

どうか勇気を持って必要に応じたマスクの着用の実践にご協力よろしくお願ひします。

反訳：ウッキーさん

Copyright：週刊西田 <http://www.shukannishida.jp>